

USBオーディオ・アンプ・キット LV-1.0 製品化プロジェクト 〈第5回〉

ヘッドホン・アンプの設計①

設計方針と仕様の決定

川田 章弘

Akihiro Kawata

本誌2月号特集「製作研究！USBオーディオ」で試作したUSBオーディオ・アンプLV-1.0の試作1号機には、完全ディスクリートのヘッドホン・アンプが

搭載されています。今回から3回にわたり、回路設計の過程を詳しく解説します。
〈編集部〉

ヘッドホン専用！ ディスクリートで構成

● スピーカ用とは別にヘッドホン専用のアンプを搭載
LV-1.0はメイン・アンプとしてインターナショナル・レクティファイアー社のデバイスを採用したD級アンプを搭載しています。

安価なプリメイン・アンプは、図1(a)のように、メイン・アンプの出力に抵抗を挿入してヘッドホン出力を得ていますが、本格的なプリメイン・アンプは、



写真1 本誌オリジナルのUSBオーディオ・アンプ・キットLV-1.0(マルツパーツ館)のフロント・パネル

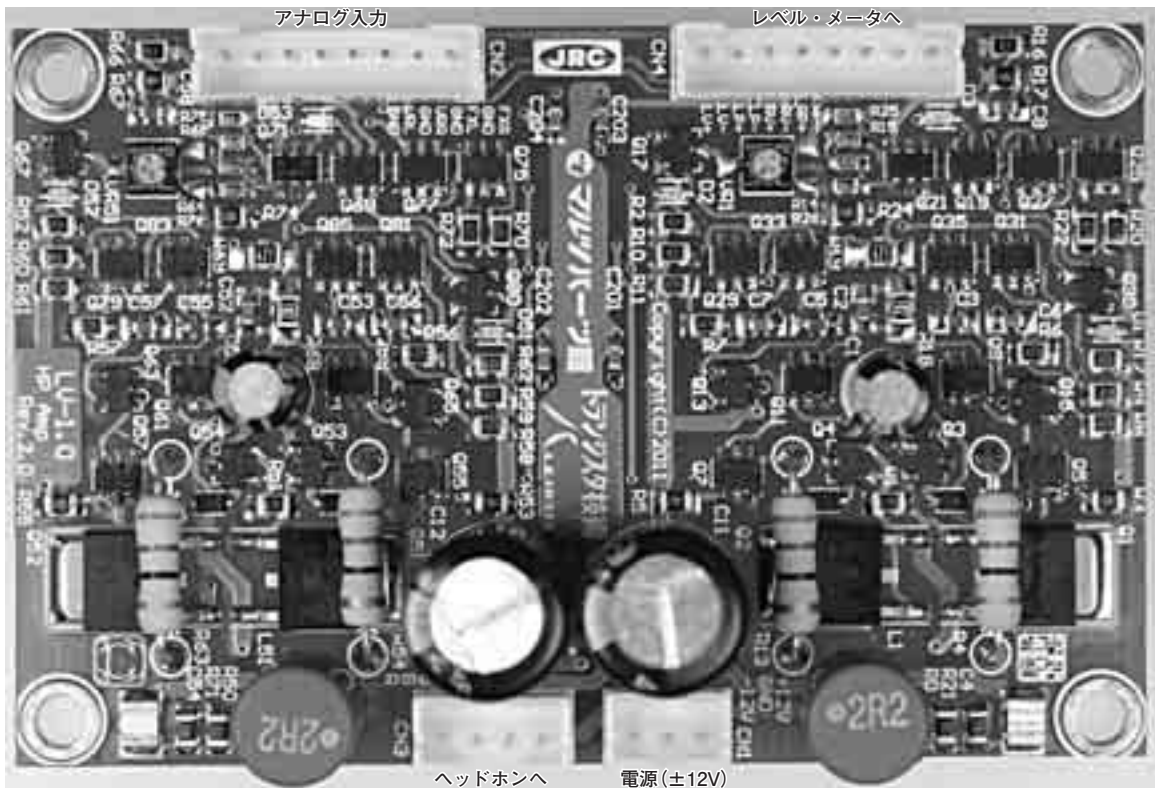


写真2 LV-1.0のヘッドホン・アンプ基板はディスクリート部品だけでできている